

スイートコーン



学名 *Zea mays* L.
 和名 とうもろこし
 英名 Sweetcorn, Sugarcorn
 原産地/生育地 メキシコ～南米北部
 植物分類 イネ科トウモロコシ属
 発芽適温 25～30℃
 生育適温 20～30℃

トウモロコシの一種のスイートコーンは、野菜としてはでんぷん質 糖質が多く、高カロリーで、甘くておいしいことから、子供の好きな野菜の上位に入っています。また、食物繊維が多く、胚芽にはビタミンB₁、B₂、Eが豊富に含まれており、栄養的にも優れた野菜といえます。

スイートコーンは、温暖な気候と日当たりのよい場所を好みます。適度な水分が必要で、乾燥も過湿も粒の肥大を悪くします。土質は選びませんが、肥料を吸う力が強いので完熟堆肥などをすき込み、地力を高めておくことが重要です。

【品種選び】 スイートコーンには、糖含有量が低いスイート種と高いスーパースイート種があります。最近の主流はスーパースイート種で、粒は通常黄色ですが、黄色に白色が混じるバイカラー、黄白 紫色が混在するトリカラー、乳白色の品種などがあります。このように、スイートコーンは見ても食べても楽しめる野菜です。

実の粒ぞろいをよくするには、10株以上を複数列に配置し、お互いの株の花粉が雌穂にかかるようにします。粒色が違う品種が近くにあると、粒色が本来のものとは違ってくること(キセニア)があるので、粒色をそろえたい場合、混植は避けます。特に、ポップコーン種との混植は味も悪くなるので注意しましょう。

1 畑の準備

タネまきの2週間以上前に苦土石灰を全面に散布して耕し、1週間前に元肥を施してよく耕し、畝を作りませ。株の配置は、実入りを考えると1条にするより数条にして 花粉が雌穂によくつくようにするといでしょう。マルチなしでも栽培できますが、ポリフィルムで畝全体にマルチをすると、発芽と生育が早く 丈夫に育ちます。

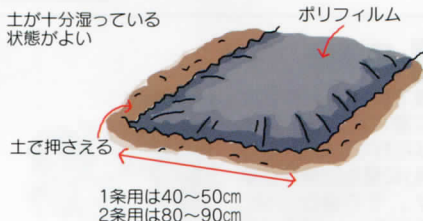
●タネまき2週間以上前



●タネまき1週間前

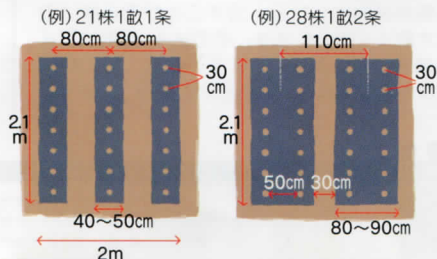


●ポリフィルムでマルチする



POINT 株の配置は四角になるように！

1㎡当たり苦土石灰は70g、堆肥は2～3kg、化成肥料(N P K=8 8 8)は150g程度とします。株の配置では 例えば 1条7株(株間30cm)×3条(列間80cm)にすれば作付け面が四角い配置となり ほかの株の花粉が飛んできて雌穂につく確率が高まります。

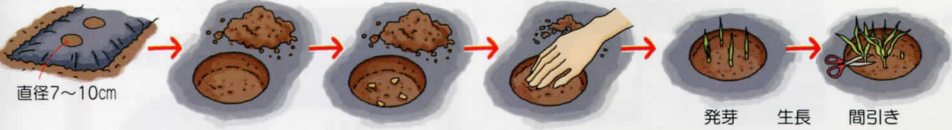


花粉が雌穂によくつくように、株の配置を四角にする

2 タネまきと間引き

マルチ栽培の場合は、タネまき直前にフィルムに直径7~10cmほどの穴を開け その穴の土を深さ3~4cmほど掘り取ります。そこに3~4粒のタネを2~3cm離してまき 2~3cmの厚さで土をかけて手で軽く押さえます。これはマルチなしの場合も同じです。本葉4枚の頃に(草丈20cmくらいまでに)間引いて、生育のよい株を1本だけ残します。

フィルムの穴開けは タネまきの直前に行う
 深さ3~4cmになる よう土を掘り取る
 タネを3~4粒 まく
 土を2~3cmかけて 手で軽く押さえる



POINT 間引きの時、残す株の根を傷めないように!

土が乾燥ぎみの時は、タネまき後に水やりをした方がよいでしょう。ハト、カラスの食害を防ぐため、芽が出るまで鳥除けの網などで覆っておきます。間引きは不要な苗をハサミで切り取ると、残す苗の根を傷めません。

3 追肥・土寄せなど、収穫までの栽培管理

草丈50cmの頃にマルチフィルムをはぎます。追肥と土寄せはこのフィルムはぎの後と、茎の先端に雄穂が出た頃に行います。追肥は速効性の化成肥料を1株当たり1握り程度(約50g)を株元のまわりにばらまき まいた肥料が隠れる程度に通路部分から土を寄せます。雌穂は1番上のみを残し、下の方に出ている雌穂は1番上の雌穂の絹糸(毛)が出始めた頃に取り除きます。



●雌穂を整理する

一番上の雌穂 → 残す
 下の雌穂 → 取り除く
 分けつ枝 → 取らない!

●マルチフィルムをはぎとる



●追肥 土寄せする



1.化成肥料を1株当たり約50gばらまく
 2.まいた肥料の上に土を寄せる

POINT 株元から出た分けつ枝(わき芽)は取らない!

土寄せすると根がしっかりと張り 倒れにくくなります。取り除いた雌穂は皮をむいてヤングコーンとして利用できます。株元から出た分けつ枝を取ってしまうと実の太りが悪くなります。

4 病虫害

大敵はアワノメイガの幼虫です。雄穂から雌穂へ幼虫が移動するのを防ぐため、雄穂の出始めた時と、その後7日間隔で殺虫剤を2~3回散布します。薬剤を使わない場合、雄穂が出た後に幼虫が茎の上部に入った場合は雄穂を切り取ります。また、雌穂に近い場所に入った場合は、穴の上3cmくらいをカッターナイフで縦に切り裂いて幼虫を取り出します。

POINT 大敵はアワノメイガ!

病気はほとんど問題ありません。アワノメイガ対策で雄穂を切り取ったら、その雄穂を雌穂の絹糸に触れさせ受粉させるとよいでしょう。株数が多い場合は、人工的に受粉しなくてもほかの株の花粉が雌穂につくので 実はずりません。

5 収穫

適期収穫を心がけてください。収穫適期は絹糸が出てから20~24日です。雌穂の絹糸がこげ茶色になったら少し皮をむいて粒の充実を確かめて収穫します。早採りすると甘みが不十分でしなびるのも早くなります。逆に収穫遅れは色を悪くし、粒皮が硬くなり 甘みも少なくなります。

POINT スイートコーンは収穫後も生きています!

早朝に収穫すると食味がよく 長もちしますが、すぐに食べないのなら呼吸による消耗を防ぐため、皮をつけたまま冷蔵庫の野菜室に保存します。それでも1~2日以内に食べましょう。

栽培暦

栽培地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道				早生~中中生種								
寒冷地 冷涼地				早生~中中生種								
温暖地			早生~中中生種									
					中中生種							
暖地		早生~中中生種										
						中中生種						

サカタのタネ
 失敗しない
 野菜栽培からの引用